



2013-2014 年度 第 1577 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：仲田俊夫 幹事：田口久雄 会報委員長：藤島 拓
 例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ ≪水曜 12：30≫
 事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内
 TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)



4 月 第 3 例会

2014 年 4 月 16 日(水)  会員数 46 名 出席 25 名



司 会 田島久夫 S. A. A

- ロータリーソング「我らの生業」



ビジター紹介 中野智之 親睦・家族委員長

§ 上野修一様宇都宮南高等学校校長・菊池久雄様南風インターアクト顧問



会長挨拶 仲田俊夫 会長

皆様こんにちは。

だいぶ暖かくなり、今日は少し暑い位です。

本日は、栃木県立宇都宮南高等学校の上野修一校長と菊池顧問がお越し下さいました。数々の不安はありましたが、インターアクトクラブが活動を開始し始めました。今後我々がどれだけのフォローをするか、インターアクトクラブが存続できるかがかかってくると思います。長期繁栄の為にインターアクトクラブへの生徒の入会増員、及び会員の皆様の応援とご協力をよろしくお願い致します。

本日の卓話は、平澤会員が「真言密教」のお話をして戴けます。お遍路さんの報道など良く目にしますが、街道の方々はお遍路さんの為の奉仕をしています。「お遍路さんは空海さんの代わり」としてお世話するそうです。いつの日か一度は廻ってみたいと思っております。



幹事報告 田口久雄 幹事

§ 4 月 26 日(土)インターアクトクラブ足尾植樹活動を行います。参加ご希望の方は、関委員長までお申し出下さい。

§ フィリピン・パルラング高校水洗トイレプロジェクト(宇都宮 90RC 合同)に当クラブより寄付した感謝状が届いております。



スマイルBOX委員会 菅野孝祠 委員

- § 仲田俊夫会長 平澤さん、卓話たのしみにしています。
- § 小塚照夫副会長 桜の季節も終わり、初夏を思わせる五月の季節がやって来ました。平澤さん本日の卓話、よろしくお願ひします。
- § 村上芳弘会員 平澤さんの卓話、楽しみにしています。よろしくお願ひします。
- § 平澤照隆会員 本日、貴重な時間を戴き、ありがとうございます。
- § 菅野孝祠会員 本日の平澤会員の卓話、楽しみです。よろしくお願ひ致します。
- § 田中正夫会員 先週末は、東京での仕事の後、奥秩父へ行きました。桜が満開でした。
- § 田村一夫会員 日光街道の桜吹雪がきれいでした。
- § 小保方信聴会員 境内の桜も 3 日前から散り始めました。過日は皇居の桜を見に行つて参りました。上野で「捕鯨船」という飲み屋に初めて寄つた日が、日本の南極捕鯨が禁止された日で、NHK の取材を受けました。全く困つたものですね。
- § 藤島 拓会員 7 月の甲子園野球大会を目指して、4 月 12 日(土)から練習を始めました。野球部の皆様、頑張りましょう。よろしくお願ひします！！
- § 物井栄三郎会員 先日 4 月 5 日は見事な桜を楽しませて戴きました。東京の桜を見たのは初めてですが、天候にも恵まれ最高でした。来年はどこへ行くのでしょうか？楽しみです。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました。	今週の金額	10,000 円
亘理ロータリークラブワンコイン支援	今週の金額	838 円
甲子園募金	今週の金額	5,323 円



宇都宮南高等学校・南風インターアクトクラブ 挨拶

栃木県立宇都宮南高等学校 新任校長 上野修一様
同校 インターアクトクラブ 顧問 菊池久雄様



会員卓話

平澤 照隆 会員 (金剛定寺 住職)

「真言密教」



 <p>http://mandala-art.secsaa.net/</p>	<h3>仏教の起源</h3> 	<h3>釈尊の生涯</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 誕生 今から2500年前(紀元前463年頃) インドの北方ネパールのルンビニーで誕生 天上天下唯我独尊 直訳(すべての世界で私が一番尊い) この世の中で私たち一人一人が尊い存在である
<h3>出家</h3>  <p>29歳で王子の地位や家族を捨て沙門として修行生活に入る 我々は生老病死の苦しみから逃れることは出来ない、どの様にしたらこの苦しみから逃れようかと常々思い悩んでいた。あるとき世俗の苦しみや汚れを離れた修行者の清らかな姿を見て出家の意思を持ったと言われている。</p> <p>6〜7年に及び難行苦行を行い修業に励んだがついに悟りは得られなかった。</p>	<h3>成道</h3>  <ul style="list-style-type: none"> 出家して7年、難行苦行を続けたが心身を極度に消耗するのみで人生の苦しみを根本的に解決することは出来ない。悟り、体力を回復する為、尼連提河に下り沐浴し、村の鳩(スジャータ)の乳粥の施を乞う、気力の回復を図った。 強い決意のもと菩提樹の下で瞑想に入った。 この時、釈迦の心を乱そうと悪魔たちが妨害に現れた。壮絶な戦いが何日も続いたが、これを退け12月8日、東に暁の明星が輝くとき悟りを開いた。これを「降魔成道」と言う。 	<h3>涅槃</h3>  <p>その後45年間説法の旅をつづけ、80歳の時、クシナガラという処の沙羅双樹の下で静かに80歳の生涯を閉じられた。その死の直前に修行僧に有名な「自明・法灯明」の教えを説いた。</p> <p>この教えとは自分を打とし、振り所として他人に頼らず生きなさい。又真理を打として振り所として、他人に頼らず生きなさいという教えです。</p> <p>日本では2月15日を涅槃会として、供養しています。</p>
<h3>釈迦の教え</h3> <ul style="list-style-type: none"> 釈迦が菩提樹の下で悟り、説いた教えとは、中道(ちゅうどう) 縁起(えんぎ) 四聖諦(しようてい) 八正道(はっしょうだう)の四つの真理から成り立っている。これらの修行を積むことにより煩悩をなくし、結果として苦を見滅することができることとしているのである。 中道 <ul style="list-style-type: none"> 何事も両極端は良くない。ほどほどがよい(考え、行動) 縁起 <ul style="list-style-type: none"> 水がこの世に降らなければ雨は降らない。親がなければ子は生まれない。 このように物事には必ず「因(いん)」があってそれがあるところ必ず「果(くわい)」も起こります。 あるものに対して他の何か(いん)の形で縁となって働きかけをし、その結果に何か(くわい)が生まれ起こることを「縁起」という。 生まれつきのものやがて死ぬ。若者もやがて老い。業(ごう)合う者たちにもいつか別れが来る。 これは人間の多くの苦しみを生み出す原因である。 このように物事はお互いに関係しあっている。 	<h3>四聖諦</h3> <p>苦諦(くたい) ... 生まれきたわれわれの世の中の様相は「苦」である と見極めること。</p> <p>集諦(じつたい) ... 苦を引起こすのは、欲望と執着を集めること と見極めること。</p> <p>滅諦(めつたい) ... 見極めた「苦」の原因、人の世の欲望と執着を 捨て去って滅すること。</p> <p>道諦(どうたい) ... それを導く具体的な手段の「八正道」を日々怠りなく 実践すること。</p>	<h3>八正道</h3> <p>人間が正しい生き方を実践するための八つの方法を表します</p> <p>正見(しょうけん) ... 正しく真実の姿を見極める 正思(しょうしゆ) ... 正しく本当のところを考える 正語(しょうご) ... 正しい言葉で正しい語る 正業(しょうごう) ... 正しい行徳・行為をする 正命(しょうみやう) ... 正しい生活をする 正精進(しょうしゆじん) ... 身心を整え、健康に留意して、正しい努力をする 正念(しょうねん) ... 正しい信念を持ち、希望に燃える 正定(しょうじやう) ... 以上のことを常に正しく守れるように身心を落ち着かせる</p> <p>東の空を曙光が赤く染める頃、「天眼」が生じ、釈迦は真理に目覚めて「仏陀」となった。35歳のときのことである。</p>
<h3>インドの宗教分布</h3> <ul style="list-style-type: none"> ヒンドゥー教 80% イスラム教 13% キリスト教 2% 仏教 2% シーク教 2% ジャイナ教 1% 	<h3>仏教の衰退</h3> <ul style="list-style-type: none"> 五世紀のインドはブッダが仏教を創始して約1000年がたった。仏教とヒンドゥー教の拮抗が破れ、ヒンドゥー教が優位になった。 <p>原因(マイナス要因)</p> <ol style="list-style-type: none"> 仏教は知的水準の高い人々を布教の対象—都市型宗教 出家型の宗教・僧院中心の活動 出家型の宗教の為、現世の諸問題に冷淡であり激変する現実問題に対応能力を欠いた。 <p>これらの原因と合わせて、異民族の侵入・東西交易の退潮・都市の衰退・強大な王朝の滅亡・大商人たちの没落→仏教の衰退</p>	<h3>仏教の再生計画</h3> <ul style="list-style-type: none"> ヒンドゥー教の成功の裏面を模倣 いろいろな儀式・理屈・利益・つながる術術を修業の中に組み入れた 庶民に人気のある神々が仏教に移籍してきたというたちをとった。 井財天・吉祥天・兜沙門天 新たな修行法が次々と試みられた。 <p>この時代、インドのヨーガ(瞑想法)が大転換を迎える。 生命エネルギー(性欲等)を制御して精神を悟りの境地をめざす「日如來の道」→生命エネルギーを活性化して悟りに至らうとする「増進の道」に進んだ。 この事象を契機、仏教の改革者達は(霊(精神)と肉(身体)の関係の再構築に至った。 「霊の変革は霊のみによっては不可能であり肉の変革こそが「霊」の変革を可能にする」といっ結論を導き出した。</p> <p>↓ 密教が生まれる</p>
<h3>顕教と密教</h3> <ul style="list-style-type: none"> 密教以前の仏教(顕教) ブッダの教え(經典)によって悟りを得る言語的理解によって仏にちかづける。 密教は悟りは感覚的なものであり、修業を通して体験して、気づくことでしか聞けない <p>曼荼羅 經典自体を視覚化したもの 密教法具 煩悩を打ち払う菩提心をシンボル化した法具</p>	<h3>胎藏曼荼羅</h3> <p>大日如來の教が集約されたもの 大日如來の「理」を表す</p>  <p>中台八葉院(中央に大日 四如來菩薩)</p>	<h3>金剛界曼荼羅</h3> <p>九会曼荼羅 大日如來の「智」を表す</p> <p>金剛頂經の教の集約</p> 
<h3>密教法具</h3> 	<h3>密教の本尊</h3> <p>大日如來は宇宙万物の源、永遠不滅の真理そのものの宇宙の全てのものは、大日如來を源とする「胎・水・火・風・空・地」の六の構成要素で成立し、この六で構成されている。なぜならこの構成要素が大日如來と私達はつながっている。つまり、私達は生まれながらにして己の中にも大日如來(仏性)が宿っている。</p> <p>ゆえに、自覚した時点で己の仏性を気づくこととなり、菩提心によって覚醒している。</p> <p>密教では修行(三密)によって、この仏性が本来ある位大日如來の如く次第に、大日如來の清浄を顕現させ、悟ることによって、やがて大日如來と一体化することを旨とする。</p> <p>↓ 即身成佛 三密とは身(身行)口(言葉)意(心)</p> 	<h3>日本の密教</h3> <p>天台宗 位教大師 智者 台密</p>  <p>真言宗 弘法大師 空海 東密</p> 

出席報告 嶋田辰雄 委員

会員数 46名 前々回 4月5日
 出席数 25名 訂正率 100%
 欠席数 21名 お花見例会
 出席率 60.98% ベトナム奉仕活動7名

次回例会

4月23日(水) 外部卓話
 宇都宮商工会議所
 経営指導員 高野仁美様
 「環境優良事業所」



プログラム

月 日	時 間	内 容
4月23日(水)	12:30~13:30	外部卓話：宇都宮商工会議所 経営指導員 高野仁美 様 「環境優良事業所」
4月30日(水)	12:30~13:30	外部卓話：宇都宮大学 准教授 高橋若菜 様 「地球温暖化の現状と展望」

月 日	時 間	内 容
5月7日(水)	12:30~13:30	外部卓話 とちぎボランティアネットワーク 常務理事 矢野正広 様 「フード・バンクと生活困窮者支援」
5月14日(水)	12:30~13:30	会員卓話 喜内敏夫会員・佐々木隆会員 「RI 地区委員として振返って」
5月21日(水)	休会	5月24日(土)振替休会
5月24日(土)	10:00~12:00	社会奉仕・インターアクト委員会 南風クラブ合同による清掃活動
5月28日(水)	12:30~13:30	クラブフォーラム テーブルミーティング 「新会員と語ろう」小塚照夫 副会長